

科目名	世界史B			学年・必修	2年	必修	使用教科書	『詳説世界史B 改訂版』山川出版社			
				単位数	2		使用副教材	『授業用 詳説世界史B改訂版整理ノート』山川出版社 『山川 詳説世界史図録(第2版)』山川出版社			
学習目標	<p>「世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と責任を養う。」(学習指導要領より)</p> <p>1 世界の歴史の興衰・盛衰を高め、文化の多様性と現代世界の特質を多角的かつ広い視野から考察し、歴史的思考力を培う</p> <p>2 世界の歴史の大きな枠組みと展開を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する</p> <p>3 世界史についての史資料を適切に選択し、史資料に基づいて考察した結果を適切に表現する力を身につける</p> <p>4 現代社会が直面する諸課題について、歴史的観点から考察し、主体的な意見を述べて認識を深める</p> <p>5 変化する大学入試に対応する力として、獲得した情報を論理的に言語化及び文章化する力(論理的に語る、書ける)を身につける</p> <p>以上5つの目標の達成を目指す。</p>										
学習方法	<p>・授業では、プリント等を配布して授業を展開するので、プリントを整理できるファイルを用意してください。</p> <p>・教科書の他、副教材として資料集やワークを使用するので、毎時必ず持参してください。ワークは考慮ごとに提出してもらいます。</p> <p>・考慮において論述問題を採ります。論述問題では、歴史的背景や因果関係に自分の視点や考察を加えた問いを設定するので、それらをまとめて記述できるよう意識して学習してください。</p> <p>・板書は一字一句同じ内容のものになることを求めています。ただ「写す」だけではなく、自分なりに思考したことや黒板には書かれないこと、資料集などからの補足を積極的に加え、自分独自のプリントを作り上げてください。</p>										
学習評価	学習評価				評価方法				割合(%)		
	評価の観点		科目の評価の観点の番号		評価方法						
	a	関心・意欲・態度	1		授業での活動	学習活動の取り組みの様子や発言その成果としてのノートの完成度		20			
	b	思考・判断・表現	2		レポート作成	定期的に実施する小テストと年4回の定期調査習熟レベルと発表や論述の論理性		30			
	c	観察・実践の技能	3		提出物	定期的に実施する小テストと年4回の定期調査習熟レベル		20			
d	知識・理解	4		定期調査	定期的に実施する小テストと年4回の定期調査習熟レベル		30				
単元名(教材)	2 オリентと地中海世界		物理		浮力の原理をアルキメデスが発見したことなどから、現代科学の起源が古代ギリシアという古い時代であることを学ぶとともに、現代のあらゆる事柄が歴史とどう結びついているかを関連付ける。						
学期	月	単元名(教材)	配当時間	学習の目標・ねらい	a	b	c	d	身に付けられる Okushirev 5.0		
前期	4	1 先史の世界	4	人類が自然環境に適応しながら進化し、農耕・牧畜を基礎とする諸文明を築き上げたことに気付くと同時に、人類と言語の分化を理解する。	○	○	◎		人類の進化、文明の成立、人類と言語の分化に関する基本的な知識を身につけている。	学びに向かう姿勢	
	4 5 6	2 オリентと地中海世界	10	西アジア世界の地理的特質を把握し、オリент文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。都市国家から大帝国内に発展したローマ文明の特質を理解する。			○	◎	1 古代オリент世界 2 ギリシア世界 3 ローマ世界	学びに向かう姿勢	
	6 7	3 アジア・アメリカの古代文明	12	各地域の地理的特質を把握し、文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、世界の形成過程を理解する。また、地理的特質を把握し、国家形成の過程を理解する。中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。先住民による南北アメリカ文明の形成とその特色を理解する。			○	◎	1 インドの古典文明 2 東南アジアの諸文明 3 中国の古典文明 4 南北アメリカ文明	思考・判断・表現力	
	8 9	4 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	10	内陸アジアの地理的特質を把握し、台頭した遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。東アジアにおける北方遊牧民の動向と、二国時代から魏晉南北朝という中国の分裂と動乱の時代を理解する。隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備やその動向を理解する。			○	◎	1 草原の遊牧民とオアシスの定住民 2 北方民族の活動と中国の分裂 3 東アジア文化圏の形成	思考・判断・表現力	
後期	10 11	5 イスラーム世界の形成と発展	12	イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。神祕主義(スーフィズム)の影響、インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化など、イスラーム世界の拡大の過程を理解する。イスラーム文明の特質とその影響、学問と文化活動の内容、イスラーム都市を中心としたネットワークの役割を理解する。			◎	○	◎	1 イスラーム世界の形成 2 イスラーム世界の発展 3 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 4 イスラーム文明の発展	学びに向かう姿勢
	12 1	6 ヨーロッパ世界の形成と発展	10	地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。ビザンツ帝国の繁栄とその社会や文化、スラヴ人と周辺諸民族の自立の過程を理解する。十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の姿容と諸国の動向を理解する。教会と修道院、大学やスコラ学などから、ヨーロッパ中世文化の特色を理解する。			◎	○	◎	1 西ヨーロッパ世界の成立 2 東ヨーロッパ世界の成立 3 西ヨーロッパ中世世界の姿容 4 西ヨーロッパの中世文化	探究心
	2 3	7 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	16	内陸アジア世界におけるトルコ人の活動とイスラーム化の進展を理解する。契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替、宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。モンゴル帝国の興亡と、その活動が日本を含む諸地域世界にあえた影響の大きさを理解する。	○	○	○	◎	◎	1 トルコ化とイスラーム化の進展 2 東アジア諸地域の自立化 3 モンゴルの大帝国	探究心